

福井ダム

福井ダムは徳島県が福井川水系福井川の阿南市福井町地先に建設したダムです。福井川流域は、徳島県でも多雨地帯であり、台風期以外でも豪雨があり、急峻な山地からの水の出は速く、鉄砲水となります。特に昭和 20 年代には、昭和 24 年 6 月のデラ台風、昭和 25 年 9 月のジェーン台風、昭和 27 年 3 月の低気圧等により、大きな水害が発生しました。特に昭和 27 年 3 月 22 日には時間雨量 167 ミリという集中豪雨により、被害が死者 6 人、被害家屋 360 戸、浸水農地 111ha に及びました。

このため、昭和 25 年から昭和 30 年までの間、徳島県は阿南市福井町湊から鉄道橋までの区間で災害助成事業として河道の整備を行いました。河川の治水安全度は低いままです。そこで、昭和 28 年に中小河川改修事業の中でダムを計画し、工事用道路等の一部工事を実施しましたが、河川計画の見直しのため昭和 36 年に事業を休止しました。

また、福井川沿いの耕地は、かんがい用水を福井川に依存しており、しばしば深刻な用水不足に見舞われてきました。このため、福井川に不特定補給を行い、流水の正常な機能の維持を図る必要もありました。

こうしたことから徳島県は、昭和 42 年にダム計画の予備調査を再開し、昭和 47 年から実施計画調査を行い、昭和 54 年に福井ダム建設事業に着手しました。平成 3 年 6 月に本体コンクリート打設を開始、平成 6 年 3 月に本体完成、平成 6 年 11 月に試験湛水開始、平成 7 年 6 月に試験湛水終了、そして平成 8 年 3 月に事業完了しました。

福井ダムは、ダム地点の計画高水量 540 m³/s のうち 470 m³/s の洪水調整を行いダム下流の洪水被害の軽減を図るとともに、下流沿岸の既得用水の補給を行うなど流水の正常な機能の維持を図ることを目的としています。

福井ダムの洪水調節により、福井川下流域では洪水時の水位低下が確認されています。平成 10 年 5 月豪雨で、福井ダム地点では 5 月 16 日から 17 日にかけて累計雨量 412 ミリ、最大時間雨量 94 ミリを記録しました。この豪雨で、福井ダムは 214 万 3 千 m³の洪水調節を行いました。徳島県によると、福井ダムがなければ、阿南市福井町大西付近で水位がさらに約 0.8 m 上昇していたと予想されるということです。また、平成 10 年 9 月豪雨では、福井ダム地点で 9 月 22 日に累計雨量 242 ミリ、最大時間雨量 92 ミリを記録しました。この豪雨で、福井ダムの調節水量は 156 万 m³でした。福井ダムがなければ、阿南市福井町大西付近で水位が約 1.2m 上昇していたと徳島県では予想しています。

このように福井ダムは福井川流域のために貢献していますが、平成 15 年以降も浸水被害が発生しており、河川改修などの対策が進められています。

<参考文献：徳島県編「福井ダム工事誌」1996 年、徳島県編「福井川水系河川整備計画（変更）」2015 年、徳島県阿南土木事務所編「福井川水系福井ダムー平成 10 年度災害と福井ダムの洪水調整効果についてー」1998 年など>

